

爽快 ウォーク。

木漏れ日に包まれる、
ネイチャートリップへ。

東海自然歩道

[滋賀・大津市]
歩行時間:約3時間30分

現代版「東海道五十三次」とも称される、全長1,697 km、11都府県にまたがる長距離自然歩道「東海自然歩道」。大津駅を起点に、その一部である緑豊かな比良・比叡山地の裾野を辿って「近江神宮」を目指すコースをご案内。勾配の多い山道はややハードだが、木漏れ日に誘われて歩を進めると、木々のグラデーションが美しい神秘的な光景が楽しめ、雄大な自然に包まれるような感覚を体感できる。出発前には虫よけや紫外線対策などの準備もお忘れなく。

Course



Access 電車/琵琶湖線大津駅下車

ウォーキングの間に立ち寄って



みいでら おんじょうじ
三井寺(園城寺)

天台宗門宗の総本山である、滋賀屈指の名刹。国宝の金堂をはじめ、観音堂、唐院など100点を超える国宝や重要文化財を擁する。広大な敷地と美景でも名高く、歌川広重の浮世絵「近江八景」にも「三井の晩鐘」として描かれている。桜の名所だけに、春は特に美しい。●大津市園城寺町246 ☎077-522-2238 8:00~17:00 拝観料=大人600円



こちらは兔を祀った[三尾神社]。愛らしい「夫婦うさぎ」が参拝者を出迎えてくれる。



れすとらん風月

[三井寺]の仁王門前に店を構える食事処。精進料理を中心に、手間をかけた奥ゆかしい妙味を美しい景色とともに楽しむことができる。人気メニューである、点心・三井の晩鐘2,200円は、釣鐘に見立てた三段重ねの器に、季節の野菜と旬の刺身を色鮮やかに仕立てた逸品。●大津市園城寺町246 ☎077-524-0638 8:30~17:00 無休

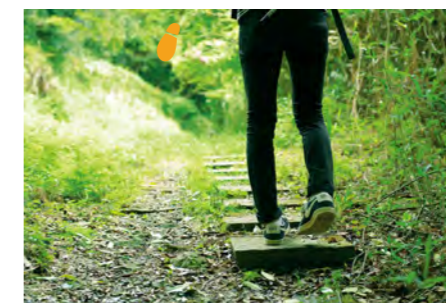


[皇子が丘公園]の遊歩道。見晴らしがよい高台に位置し、緑豊かな園内は開放感たっぷり。



三井寺力餅本家

その昔、比叡山の僧であったという武蔵坊弁慶が[三井寺]から奪取したといわれる鐘が「去のう、去のう(帰りたい、の意)」と泣くので返還した、という伝承にあやかった銘菓。小餅に白蜜をかけ、きめ細やかな青大豆のきなごをまぶした素朴な味わいに、思わず心も和む。3本入り324円〜。●大津市浜大津2-1-30 ☎077-524-2689 7:00~19:00 無休

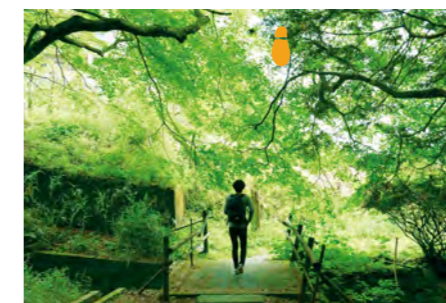


等間隔に並んだ石の歩道を辿って、近江神宮方面へ。静寂の中、時折聞こえる鳥のさえずりが疲れを癒やしてくれる。

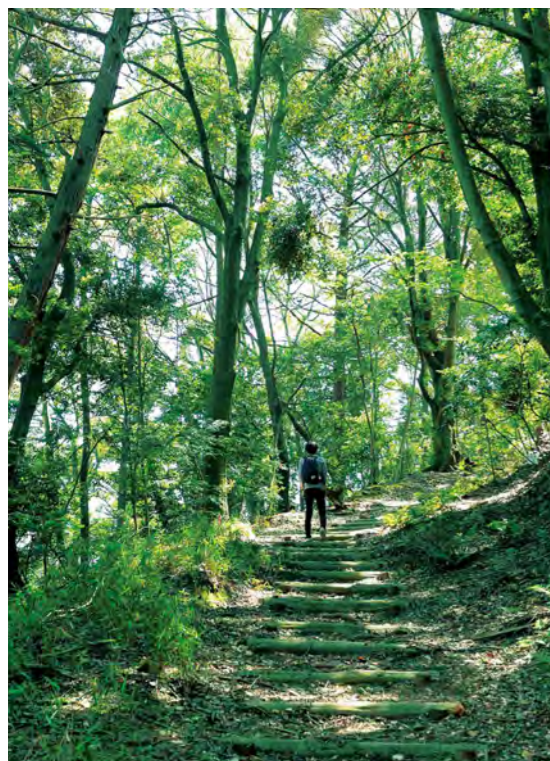


近江神宮

大化改新を行った天智天皇(中大兄皇子)を祀る勅祭社。社殿は近江造と称される神社建築様式で、国の登録有形文化財。「小倉百人一首」の巻頭歌を天智天皇が詠んだことから、かるたの聖地として知られ、漫画・映画「ちはやふる」の舞台としても話題に。●大津市神宮町1-1 ☎077-522-3725 6:00~18:00(ご朱印など9:00~16:30) 参拝無料



ゆるやかな起伏が続く山道から近江神宮方面へと抜ける。しなやかな木々が織りなす、緑のアーチをくぐろう。



もう少し平坦な道を想像していた筆者のイメージを裏切る、急勾配の山道に若干おのきつつ雑木林を進む。



長等山麓から[近松寺]の観音堂へと続く石階段の途中には、ひっそりと佇むお地蔵さんが。道中の安全を祈願。



明治時代に整備され、桜の名所として知られる[長等公園]。展望台からは琵琶湖を背にした大津市内を一望できる。



比叡山麓の穴太遺跡で発見された、古代のカマド。[大津市歴史博物館]前で展示されている。



長等公園内の登山口。こちらの分岐点から木の階段を上り、「東海自然歩道」へと合流する。



[長等神社]境内にひっそりと佇む[馬神社]。調教師など、競馬関係者も参拝に訪れるそうだ。

※掲載のデータは2021年1月現在のものです。施設・店舗の価格・営業時間・休みなどは変更になる場合がございます。 ※ハイキングの歩行時間は目安です。天候や体調、体力などにより所要時間は異なりますので、時間には余裕を持ってご移動ください。